

介護タクシー サービスについて

当院では、4月から通院時などの介護タクシーサービスを行っています。

①介護タクシーとは？

通院などで外出される際に送迎を行う専用タクシーです。ヘルパーの資格を持った運転手(ケアドライバー)が、乗り降り介助などを行います。介護保険の中の「訪問介護」に属するサービスです。介護保険の認定を受けておられる方で、要介護度1以上の方であれば、御利用できます。御希望により、介護保険を利用しての院内付き添いなどにも対応します。

②どんな時に利用できるの？

各病院、医院へ受診される時。日常生活に必要な買い物をする時。公共施設における日常生活に必要な申請や届出をされる時。預金の引き下ろしをされる時。選挙の投票に行かれる時。

③介護タクシーを利用するには？

まず、担当のケアマネジャーさんに御相談ください。担当のケアマネジャーさんと当事業所で連絡調整し、御利用の日時などを確定します。御利用当日お約束の時間にケアドライバーが専用車にてお伺いします。

④介護保険適用外の利用はできるの？

介護保険適用外(要支援・自立の方)の御利用に關しましては、実費にて承ります。淡路市福祉タクシー利用券も、御利用頂けます。御希望の方は当院まで御相談下さい。
(ホームヘルパー 藤山 俊子)



☺スタッフ自己紹介

5月から勤務しております、看護師の遠松美智子です。出身は大阪で、結婚して淡路に来ました。現在は生穂に住んでおります。あわじ弁にもだいぶ慣れ、今ではすっかりあわじっ子です。以前こちらで勤務しており出産の為一時退職し、このたび7年ぶりの復帰となりました。趣味は園芸と体力づくりの為にソフトバレーボールをしております。ワイワイ楽しみながら、汗をかくのは、とても気持ちがいいです。

6月から訪問看護にも行き、在宅と外来看護を担当いたします。明るく親切をモットーに皆様の健康のお手伝いが出来ればと考えておりますので、どうぞ気軽にお声をかけて下さい。よろしくお願ひします。(看護師 遠松 美智子)



夏の風物詩



夏の風物詩といえば皆様何を連想されますでしょうか。

短冊に「字が上手になりますように」と祈った七夕、朝からうるさい蝉、ジリジリと照りつける太陽、淡路島といえば海水浴、花火。考えただけでも汗が出てきそうですが、そのような中、縁側にすだれを下げ風鈴を掛けて、目や耳から爽やかさを感じたり、熱くなった体には冷えた麦茶やかき氷、スイカも嬉しいですね。その麦茶やかき氷には古い歴史がありました。

麦茶には暑さで失われた水分を補給し、体温を下げ、また血をサラサラにする効果もあるそうで

す。日本最古のお茶で緑茶が伝来する以前、平安貴族は「麦湯」と呼びたしなんでいました。江戸時代には「麦湯店」が町中に登場し明治時代には一般家庭でも盛んに飲用されました。

かき氷の史実上の記録には平安時代の「枕草子」に「削り氷に甘茶蔓(あまちゃづる)・甘葛(あまづた)の甘味のある樹液である露をかけた」と記されています。

今年はたまにはクーラーを止め、万葉人にならって風流な夏を過ごしてみましようか。(医療事務 赤松 陽子)



曾山医院

胃腸科・外科・内科・肛門科

☎656-2131 兵庫県淡路市志筑1391-9 ☎0799-62-5566

編集委員会

岡崎博子 背野有加里
荷出真巳 赤松陽子
西岡博子 細畠成氏
(協力)ピーシー・クリック